

ピアホームだより

2012. 3. 10

頭の病気かこころの病気か

精神科医香山リカさんの新聞記事をちょっと引用します。

『テレビで、うつ病の最新治療などを紹介する特集番組が放映されたのだ。その番組のコンセプトは「うつ病は心ではなく脳の病気」で、脳の活動の状態をCTのような装置でとらえて診断をつける検査法や脳に直接、反復して磁気刺激を与える治療法などが取り上げられていた。精神科医が時間をかけての言葉のやり取り、つまり問診で診断をつけて、「服薬と休養」で時間をかけて治療、というこれまでのやり方とは全然、違う。——』

『どんなに脳科学が進歩しても、うつ病にはやはり「心の病」という側面がある。その部分に関しては、これまでのように時間をかけた医療者や家族との対話や環境の調整、そして何より

休養を取りながら、少しずつ立て直していくしかないのではないだろうか。』

確かに、生物学的には精神の病気は、脳の病気に違いない。しかし、精神障害者のリハビリに携わる者として、日々、格闘しているのは、いわゆる精神症状と言うことは少なく、障害と格闘している一と思っている。病気の症状を抑えたところで、問題は解決しないことが多い。病気イコール障害でないという思いを強く持っている。発病前の過程、発病後の過程一心が関わって障害が生ずる？

いつだったか、当事者の方が精神病は頭の病か心の病かと議論していたことを思い起こした。私も、薬剤師として、科学的な根拠を求めて来ましたが、実際に触れる彼らの口からは、心の叫びが多い。—それも聞かなければ、本当のリカバリーと言えないのだとの想いに至っている。

精神病は、頭の病であっても、心のケアも行っていかなくちゃね。

ボランティア紹介

高崎麻菜さん

東京大学大学院総合文化研究科で人間の安全

保障プログラムの研究されているそうです。やはり、ご家族に精神病の方がおられることから、ずっと心の内に葛藤があったようです。先日、食事会に参加していただき、楽しいひとときを過ごすことが出来、皆大喜びでした。けん玉の指導員資格を持っておられますので、次の機会には教えて頂きたいですね。

ピアホームⅡに新しい仲間

○井○文さん

2月20日より、202号室に入居されました。高齢の方で、入院生活が長くなり足腰も弱ってしまったと嘆かれています。まず、近隣のお散歩から始めて、身体を馴らしましょう。

今年もよろしく 秋月です！

世話人として、1年3ヶ月経ちました。これからも、利用者の方々と共に、1日1日を大切に過ごしていきたいと思っています。

3月の行事

<3月6日>板橋グループホーム会議

<3月10日>アドボケート会理事会

<3月28日>クラブハウス町田理事会出席